

都道府県対抗駅伝 愛知県代表選手選考について

都道府県対抗駅伝で好成績を残せるように、以下に示す要領により行う。

1 一般男女

日本代表クラスの実績、5000m・10000mの実績、実業団・大学駅伝の結果を参考にする。

2 高校男女

国民スポーツ大会、県高校駅伝、駅伝強化長距離競技会の結果に加え、高校総体、高校新人の結果を踏まえ、総合的に選考する。

選考の日程上、トラック等の記録は、第2回駅伝強化長距離競技会（11月9日）までを参考にする。また、いずれかの駅伝強化長距離競技会への出場を選考の必須条件とする。

3 中学男女

(1) 駅伝強化豊川長距離競技会、第1回～第3回駅伝強化長距離競技会のいずれかの大会に1回以上出場することを選手選考の必須条件とする。

(2) 第3回駅伝強化長距離競技会(11月15日)に「選考レース」を行い、その結果で選手を選考する。選考レース出場条件は、令和7年1月1日から大会申込時までに、3000mの公認自己記録が【男子9分30秒00、女子10分40秒00】を上回る上位20名までとする。条件にあてはまる大会出場者を同一組として選考レースとする。

※駅伝強化豊川長距離競技会、第1回～第3回駅伝強化長距離競技会の4競技会内で選考レースの記録を上回った場合も選考の対象とする。

(3) 令和7年1月1日から第3回駅伝強化長距離競技会申込時までに、3000mの公認自己記録で【男子8分40秒00、女子9分45秒00】を突破したものは、『シード選手』として選考レースを経ずに選手として選考される場合がある。

※この場合も(1)を満たすこと。満たしていない選手はシード選手には選考しない。

※シード選手が4名以上いた場合は、第3回駅伝強化長距離競技会(11月15日)の選考レースに出場して選考する。その場合、選考レースに出場しない選手の立場は保障しない。